



学校だより

平成30年5月1日
第2号
新発田市立加治川中学校

深めよう **絆** 県民運動 スターマン
ストップ・ザ・いじめ
～やめよういじめ 許さないいじめ～

〒959-2407
新発田市川口 330
Tel.0254—33—2214

東京ディズニーランドで働いている人の話

加治川中学校長 齋藤 恭之

4月6日の始業式で話した「笑顔」「挨拶」「思いやりの心」の3つの中で、今日は「思いやりの心」について話します。このことについて日本では「自分がされてうれしいことを、人にもしてあげなさい」とよく言われていましたし、中国最古の詩集の中にも溫柔敦厚（おんじゅうとんこう）と言う言葉として出てきます。（意味は「親切で心遣いの細やかなこと」「柔和で誠実なこと」です。）

そこで、今日は、東京ディズニーランドのキャストの話をしていきます。東京ディズニーランドのリピーター率は非常に高いそうです。どうして人は、東京ディズニーランドへまた行くのでしょうか。アトラクションがおもしろいとか、建物がきれいとか、食べ物おいしいというような理由だけでないと言われています。それは、東京ディズニーランドで働く人に秘密があるのです。

このエピソードは、新潟日報にも掲載されていたものなので、皆さんの中には、聞いたか、読んだりした人がいるかも知れません。

ディズニーランドのレストランに入った若い夫婦2人が、自分の分をそれぞれ注文し、その後にお子様ランチを注文しました。ディズニーランドのレストランには「お子様ランチは8歳まで」という規則があります。そこで、担当したアルバイトの店員は2人にお断りし、他のメニューを勧めました。

すると、その夫婦はとても残念そうな顔をしました。気になったアルバイトの店員は、夫婦に事情を聞いてみました。そうすると奥さんが話し始めました。「今日は、亡くなった娘の1歳の誕生日なのです。身体が弱く娘は最初の誕生日を迎えることができなかったのです。大きくなったら、ディズニーランドへ行ってお子様ランチを食べることを楽しみにしていたのを思い出して、つい注文したくなったのです」と話し終えました。

アルバイトの店員は、「お子様ランチ承りました」と答えました。そして、その夫婦を二人がけの席から四人がけの席へ案内すると、「お子様はこちらへ」と幼児用の椅子に天国の子どもを招くように言いました。その後、料理が運ばれてきました。そこには、先ほど注文したお子様ランチがありました。そのアルバイト店員は笑顔で言いました。「ご家族でゆっくりとお過ごしください。」

相手を思いやるというのはこんなにも素晴らしく、皆さんにも伝えたいと思って話しました。アルバイトの青年の機転には、思いやりの心が光っています。東京ディズニーランドの素晴らしいところは、「アルバイト」の人でも自分の仕事に責任と誇りそしてリーダーシップをもって取り組み、自分で相手の立場に立って物事を判断しているところです。

皆さんも相手のことを考え、自分の判断で考え話をしたり、態度に表したりして、気持ちのよい生活が送れるようになっていしましょう。他人を思いやることでチームワークは強くなります。

最後に、皆さんも、周りの人から親切で、思いやりを感じ、思わずうれしくなった出来事があると思います。どうか、それを誰かに話してみてください。そうすることで、思いやりの気持ちや思いやりの心の輪が広がっていきます。

(5月全校朝会講話より)

1年生 少しずつ中学校生活に慣れてきました

僕は中学生になって最初に思ったことは、ほとんどが初体験だったということです。例えば、自転車通学、部活動など今まで小学校でやったことのないことでした。入学してから約2週間経ち、だいたいのことは慣れましたが、まだまだ試練はあると思います。そこで、それに向け、こつこつと努力し、中学生として恥ずかしくない態度をとり、加治川中学校の一員として頑張っていきたいです。

1年1組 渡邊英大

私は最初、中学校の先生や先輩がこわかったらどうしようと心配でした。でも、授業や仮入部で優しく教えてもらっていくうちに、不安がなくなりました。また、係活動など自分の役割が小学校とは違うことに慣れませんでした。毎日生活するうちに慣れてきました。これからはたくさんの行事があるので楽しみです。もちろん大変なこともあると思うので、努力して頑張っていきたいです。

1年1組 加藤季楽

交通安全教室がありました

4月11日(水)、1年生を対象に交通安全教室がありました。警察や市の交通指導員の方から自転車の乗り方を実際に教えていただきました。春は交通事故の多い時期です。1年生に限らず、安全運転を心がけて通学しましょう。

加治中生頑張ってます

公益財団法人 日本英語検定協会 様より、この度、昨年度の本校の「英語検定」の取組について『奨励賞』をいただきました。一人一人が高い目標を持ち、頑張っている姿が評価されたものです。これからも、様々なことに積極的に挑戦し、自分を成長させていきましょう。昨年度の英語検定合格者は以下の通りです。

準2級 2名 (卒業生 石垣遥果さん、3年1組 加藤芽生さん)
3級 15名
4級 11名
5級 21名
合格者計49名
受検者のべ数計57名

本校は、他にも「漢字検定」、「数学検定」を実施しております。詳細につきましては、教科担任の方から、生徒へ連絡があります。

今年度のPTA役員について

4月21日(土)に、PTA総会が行われ、平成30年度の役員と、事業計画・予算が承認されました。詳しくは、PTA総会資料、PTAだよりをご覧ください。

1年間よろしくお願い致します。

会長	副会長	副会長	副会長	副会長
下條聡郎 (上横岡)	井上大樹 (相馬)	渡邊津吉 (小島)	佐藤寿之 (高山寺)	小田暢雄 (教頭)

《お知らせ》

先日のPTA総会でも、お伝えしましたが、**今後の中体連主催大会について、4月初旬に新潟県中学校体育連盟より、以下の内容の文書が届いています**ので、お知らせします。

「平成31年度からの組織改編および大会のあり方変更について（お知らせ）」

1 県中体連組織の改編について

①変更内容

- ・ 燕市西蒲原郡中体連を、新潟地区中体連から中越地区中体連へ組み入れる。
- ・ 佐渡市中体連を、新潟地区中体連から下越地区中体連へ組み入れる。
- ・ 新潟地区中体連を、新潟市中体連とする。

②変更理由

- ・ 新潟市が政令市として権限移譲されたため。

2 大会のあり方変更について

①変更内容

- ・ 県中体連主催の県総体は、原則として、地区大会を予選の最初の大会とする。従って、郡市大会を実施しない郡市や競技がある。
- ・ 地区大会を最大3日間実施する競技がある。
- ・ 県総体の開催日は、「海の日」を含む連休を原則とする。

②変更理由

- ・ 急速な少子化に伴い郡市大会を単独で開催できない地域もあり、持続可能な全県的取組が必要であるため。
- ・ 大会参加に関わる生徒の負担を軽減するとともに、各学校の教育活動を一層充実させるため。

< 5月の主な学年行事 >

- 5月16日（水） 1年：野外活動（場所：五頭連峰少年自然の家）
2年：新潟巡検（場所：新潟市内）

4月21日（土）に行われた全校道徳に、多数のご参観ありがとうございました。